

入場
無料

防空頭巾



練習用の手榴弾



溶けたガラス瓶
【富山市郷土博物館所蔵】

遺された資料が語りかけるもの

戦時下の暮らし展

富山
会場

令和
7年

8月9日(土)～8月17日(日)

9時から17時まで

会場：富山県民会館2階ギャラリーA、B
(富山市新総曲輪4-18)

高岡
会場

令和
7年

10月2日(木)～10月5日(日)

9時から17時まで

会場：高岡文化ホールギャラリー
(高岡市中川園町13-1)



富山大空襲で焼け残った茶碗



菓子袋



この「戦時下の暮らし展」では、県民の皆さまから提供いただいた防空頭巾、軍服などの貴重な資料のほか、戦時体制下の様子や戦争の恐ろしさを伝える写真パネルを展示します。

富山会場では、富山市郷土博物館から貸出を受けた、富山大空襲に関する実物資料を特別に展示します。また、語り部の方をお招きし、富山大空襲と語り部活動について、お話をさせていただきます。

高岡会場では、広島平和記念資料館から貸出を受けた、被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵を展示します。



「富山大空襲と語り部活動」

富山大空襲を語り継ぐ会

佐藤 進さん、西田 亜希代さん

8月11日 月 11:00~12:00

富山県民会館ギャラリーD

戦後80周年特別企画



戦後80年の大きな節目を迎えるにあたり、戦後80年富山の平和を考える実行委員会（富山県、富山市、株式会社北日本新聞社）では、富山大空襲の記憶を後世に伝えるため、当時の証言や資料を基に作成した大空襲の様子や、空襲体験者による語り部活動の様子を収録した映像集を制作しました。映像は、こちらからご覧いただけます。